

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
論理・表現 I	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第 1 学年
履修単位	2 単位
教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)
副教材	英作基本文例 600 (予定)

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの三つの領域（以下この節において「三つの領域」という。）別に設定する 目標の実現を目指した指導を通して、第 1 款の (1) 及び (2) に示す資質・能力を一体的 に育成するとともに、その過程を通して、第 1 款の (3) に示す資質・能力を育成する。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考查	単元名（考查範囲）	学習活動	評価の観点		
				①	②	③
1 学期	課題 考查	新入生課題 等	中学校の学習内容を復習して、高校レベルの学習に備える。	○		
	中間 考查	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves Lesson 2 School Life	・現在形（be動詞・一般動詞） ・初対面のあいさつ・スピーチ ・過去形（be動詞・一般動詞），現在/過去進行形 ・好きな教科についての会話 等	○	○	
	期末 考查	Lesson 3 The Arts Lesson 4 Food and Culture	・未来表現，基本時制のまとめ ・週末の予定についての会話，好きな絵の発表 ・現在完了形，現在完了進行形 ・料理注文，日本の食文化のレポート	○	○	○
	課題 考查	夏季休業中の課題 等	・1 学期に学んだ内容を復習する。 ・夏季休業中の課題に取り組む。	○		
2 学期	中間 考查	Lesson 5 Welcome to Our Town Lesson 6 Traveling Abroad	・助動詞，受け身 ・道案内，地域の特徴についての発表 ・不定詞 ・買い物での会話，友達へのメール	○	○	
	期末 考查	Lesson 7 Sports Lesson 8 Everyday Technology	・動名詞，分詞の後置修飾，分詞構文 ・スポーツの試合についての会話 ・比較 ・賛成意見，反対意見について	○	○	○
	課題 考查	冬季休業中の課題 等	・2 学期に学んだ内容を復習する。 ・冬季休業中の課題に取り組む。	○		
学 3						

	学年末 考査	Lesson 9 Take Care	・ 関係代名詞 ・ 病院での会話，健康についての発表	○	○	○
		Lesson 10 SDGs — Take Action!	・ 関係副詞，仮定法 ・ SDGsについての会話，発表			
	※		1年間の学習の振り返り			

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 知識 「情報や考え，気持ちなどを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」 必ず予習をして授業で理解し，身に付けていきましょう。 ・ 技能 「情報や考え，気持ちなどを，展開を工夫して，場面や状況に応じて相手に伝えられているか」 会話や発表，自由英作文など，場面に合った英語を使えるようにしましょう。 【評価の対象】 各種考査，単元テスト，小テスト 等	「聞き手（読み手）が理解しやすいように，情報や考え，気持ちなどを理由とともに話して（書いて）伝えているか」 ただ英語を話したり書いたりしても，相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて，相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。 【評価の対象】 各種考査，単元テスト，パフォーマンステスト，プレゼンテーション 等	「聞き手（読み手）が理解しやすいように，情報や考え，気持ちなどを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」 ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢，課題提出状況も重要な評価の対象となります。 【評価の対象】 各種考査，単元テスト，小テスト，学習態度，提出物，振り返りシート，ポートフォリオ 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
【取り組み方について】 基本的な取り組み方は，「英語コミュニケーションⅠ」に書いているものと変わりません。「論理・表現Ⅰ」では，「やり取り」「発表」「書くこと」の3つの技能に焦点を当てて英語力を高めていきます。英語を使って論理的な展開で相手に自分の思いを伝えることや，状況や場面に応じて，正しく意見を伝えることが必要です。 主な学習内容としては，文法事項をしっかりと習った後に，エッセイを書いたり，プレゼンテーションをしたり，友人とコミュニケーションをとったりします。どの活動にも，正しい文法を身につけることが必須です。英語で文を作るときには，①まずは自分で考え，②辞書や参考書を見て書き直し，③そして正しい解答を見て理解し，④その英語を使うことが大切です。たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに，英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。 【成績について】 1 各単元終了後に行う単元テスト，定期考査，学習や授業に取り組む態度をもとに評価する。 2 学期ごとの成績は，定期考査の点数（中間＋期末）を7割に換算し，平常点3割を加える。 3 平常点はノート・授業プリント，課題提出，小テスト，各種考査の訂正，授業への取り組み等を勘案し，学期ごとに換算される。

- 4 基準点未満の場合，進級だけでなく，部活動の大会出場も難しくなる。

[その他]

- 1 忘れ物をした場合は，必ず授業開始までに教科担任に届け出ること。
- 2 保健室利用等で授業に参加できない場合は，必ず事前（事後）に教科担任に届け出ること。
- 3 提出物については，期限厳守とする。大会出場等で提出期限に間に合わないと事前に分かっている場合は，必ず事前に教科担任に届け出ること。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーション I	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	3単位
教科書	Power On English Communication I (東京書籍)
副教材	英作基本文例 600 (予定)

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習活動	評価の観点		
				①	②	③
1学期	課題考査	新入生課題 等	中学校の学習内容を復習して、高校レベルの学習に備える。	○		
	中間考査	Lesson 1 Japan's New Tourism Lesson 2 Light from Creatures	・日本文化と日本の新しい観光業について ・動詞の現在・過去・進行形、助動詞 ・光る生き物の生態について ・受け身、現在完了形、現在完了進行形	○	○	
	期末考査	Lesson 3 Routes to the Top Lesson 4 Left to Right, Right?	・クライマー野口選手へのインタビュー ・動名詞、不定詞、SVO[that節] ・日本のマンガと世界でのマンガの表記について ・後置修飾、比較級・最上級	○	○	○
	課題考査	夏季休業中の課題 等	・1学期に学んだ内容を復習する。 ・夏季休業中の課題に取り組む。	○		
2学期	中間考査	Lesson 5 Banana Paper Lesson 6 Patterns in Human Behavior	・バナナペーパープロジェクトについて ・関係代名詞、S + seem + to不定詞 ・人間の行動に関する心理学について ・接続詞that, SVC, SVOC	○	○	
	期末考査	Lesson 7 No Plastic or No Future Lesson 8 Oh My Cod!	・プラスチックごみによる海洋汚染について ・関係副詞where/ when, 関係代名詞what ・フィッシュアンドチップスから見る食糧資源 ・分詞構文、非制限用法、過去完了形	○	○	○
	課題考査	冬季休業中の課題 等	・2学期に学んだ内容を復習する。 ・冬季休業中の課題に取り組む。	○		
学 3						

	学年末 考査	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	・ e-sportsについて ・ 使役動詞, 知覚動詞, SVOCのif節	○	○	○
		Lesson 10 Being Different Is Beautiful	・ ヨシダナギさんのアフリカでの経験について ・ 仮定法			
	※	THANK YOU, ICHIRO.	・ イチロー選手に向けられた手紙について			

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 知識 「英語の特徴やきまりに関する事項（単語・文法・構文）を理解しているか」 そのためには、日々の復習が大切です。 - 技能 「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え、情報や考え、気持ちを伝える技能を身に付けているか」 失敗を恐れずに英語を使いましょう。 【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト 等	「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、情報や考え、気持ちを伝えるか」 丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。 【評価の対象】 各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等	「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いようとしているか」 授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。 【評価の対象】 考査、単元テスト、小テスト、学習態度、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
【取り組み方について】 普段の学習を大切にしていくことで英語力は向上します。考査前の学習だけで詰め込んでも、後に自分の力になりません。日々の予習→授業→復習で身につけた基礎があって初めて、身に付いていきます。 まずは、「語彙力は英語力」と言われるほど、多くの単語を知ることが大切です。また、英語の学習は「質より量」です。予習を欠かさないでください。自分では分からないことや疑問に思うことを確認した上で授業に臨めば、授業への集中力が増し、理解も深まっていきます。また、理解したことを定着させるための復習では、必ず音読を取り入れてください。耳と口を使って英語に触れることが、英文を理解するだけでなく、英語が自然と口から出てくる第一歩にもなります。 また、皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。 そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。 【成績について】 - 各単元終了後に行う単元テスト、定期考査、学習や授業に取り組む態度をもとに評価する。 - 学期ごとの成績は、定期考査の点数（中間＋期末）を7割に換算し、平常点3割を加える。 - 平常点はノート・授業プリント、課題提出、小テスト、各種考査の訂正、授業への取り組み等を勘案し、学期ごとに換算される。

- 4 基準点未満の場合，進級だけでなく，部活動の大会出場も難しくなる。

[その他]

- 1 忘れ物をした場合は，必ず授業開始までに教科担任に届け出ること。
- 2 保健室利用等で授業に参加できない場合は，必ず事前（事後）に教科担任に届け出ること。
- 3 提出物については，期限厳守とする。大会出場等で提出期限に間に合わないと事前に分かっている場合は，必ず事前に教科担任に届け出ること。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅠ	[外国語]

履修学科	総合学科
履修学年	第1学年
履修単位	5単位
教科書	Amity English CommunicationⅠ (開隆堂)
副教材	未定

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考查	単元名（考查範囲）	学習活動	評価の観点		
				①	②	③
1学期	課題考查	新入生課題 等	中学校の学習内容を復習して、高校レベルの学習に備える。	○		
	中間考查	Lesson 1 The Beautiful Scenery	・お気に入りの場所についてやり取りしたり、まとめたものを発表したりする。 ・be動詞・一般動詞の現在形	○	○	
		Lesson 2 My Best Friend	・日常生活についてやり取りしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。 ・be動詞・一般動詞の過去形			
	期末考查	Lesson 3 Love for Dance Lesson 4 Endangered Species	・コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。 ・進行形／助動詞 ・動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表したりする。 ・不定詞	○	○	○
2学期	課題考查	夏季休業中の課題 等	・1学期に学んだ内容を復習する。 ・夏季休業中の課題に取り組む。	○		
	中間考查	Lesson 5 The History of Chocolate Lesson 6 Our School	・健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にして、自分の考えをまとめて発表したりする。 ・動名詞 ・好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表したりする。 ・比較（原級・比較級・最上級）	○	○	

3 学期	期末 考査	Lesson 7 Serendipity	・相手の生活面や経験などについてやり取りしたり、セレンディビティについてまとめて発表したりする。 ・現在完了	○	○	○
		Lesson 8 Sapeurs	・服装や平和のシンボルについてやり取りしたり、大切なものについてまとめて発表したりする。 ・受動態			
	課題 考査	冬季休業中の課題 等	・2学期に学んだ内容を復習する。 ・冬季休業中の課題に取り組む。	○		
		Lesson 9 Special Makeup Effects	・好きな俳優や映画についてやり取りしたり、それらをまとめて発表したりする。 ・分詞の形容詞的用法			
	学年 末考査	Lesson 10 Clean Water	・好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。 ・関係代名詞	○	○	○
	※	tupera tupera	・本、新聞、雑誌などを読むこと			

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 知識 「単語・文法・構文を理解しているか」 そのためには、日々の復習が大切です。 - 技能 「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的话题について書かれた（話された）英語を捉え、考えや気持ちを伝える技能を身に付けているか」 失敗を恐れずに英語を使いましょう。 【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト 等	「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的话题について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、考えや気持ちを伝えているか」 丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。 【評価の対象】 各種考査、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等	「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、英語を用いようとしているか」 授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。 【評価の対象】 各種考査、単元テスト、小テスト、学習態度、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
【取り組み方について】 普段の学習を大切にしていくことで英語力は向上します。考査前の学習だけで詰め込んでも、後に自分の力になりません。日々の予習→授業→復習で身につけた基礎があって初めて、身に付いていきます。 まずは、「語彙力は英語力」と言われるほど、多くの単語を知ることが大切です。また、英語の学習は「質より量」です。予習を欠かさないでください。自分では分からないことや疑問に思うことを確認した上で授業に臨めば、授業への集中力が増し、理解も深まっていきます。また、理解したことを定着させるための復習では、必ず音読を取り入れてください。耳と口を使って英語に触れることが、英文を理解するだけでなく、英語が自然と口から出てくる第一歩にもなります。 また、皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな

助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。

そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。

[成績について]

- 1 各単元終了後に行う単元テストおよび定期考査を中心に評価します。
- 2 学期ごとの成績は、定期考査の点数（中間＋期末）を7割に換算し、平常点3割を加える。
- 3 平常点はノート・授業プリント、課題提出、小テスト、各種考査の訂正、授業への取り組み等を勘案し、学期ごとに換算される。
- 4 基準点未満の場合、進級だけでなく、部活動の大会出場が難しくなる。

[その他]

- 1 忘れ物をした場合は、必ず授業開始までに教科担任に届け出ること。
- 2 保健室利用等で授業に参加できない場合は、必ず事前（事後）に教科担任に届け出ること。
- 3 提出物については、期限厳守とする。大会出場等で提出期限に間に合わないと事前に分かっている場合は、必ず事前に教科担任に届け出ること。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
論理・表現Ⅱ	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	MY WAY Logic and ExpressionⅡ (三省堂)
副教材	英作基本文例 600

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中の課題	600 選のポイント確認，例文書写，音読により，重要表現を身に付ける。	○	○		
	期末考査	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 The New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology	・現在完了形，過去完了形 ・未来を表す表現 ・助動詞表現 ・助動詞の完了形 ・受動態 ・不定詞①	○	○	○	4, 17
	課題考査	夏季休業中の課題	600 選のポイント確認，例文書写，音読により，重要表現を身に付ける。	○	○		
2学期	中間考査	Lesson 4 Rediscover Kabuki Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	・不定詞② ・知覚動詞，使役動詞 ・動名詞 ・分詞構文 ・比較① ・比較②	○		○	4, 17
	期末考査	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Lesson 8 Language and Society	・関係代名詞，関係副詞① ・関係代名詞，関係副詞② ・仮定法① ・仮定法②	○	○	○	4, 17

3 学期	課題 調査	冬季休業中の課題	600 選のポイント確認，例文書写，音読により，重要表現を身に付ける。	○	○		
	学年 末 考 査	Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	・ 否定の表現 ・ 代名詞を使った表現 ・ 無生物主語構文 ・ thatを使った表現	○	○	○	4, 17
	※		1 年間の学習の振り返り				

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 知識 「情報や考え，気持ちなどを理由とともに書いて（話して）伝えるために必要となる語句や文法を理解しているか」 必ず予習をして授業で理解し，身に付けていきましょう。 ・ 技能 「情報や考え，気持ちなどを，展開を工夫して，場面や状況に応じて相手に伝えられているか」 会話や発表，自由英作文など，場面に応じた英語を使えるようにしましょう。 【評価の対象】 各種考查，単元テスト，小テスト 等	「聞き手（読み手）が理解しやすいように，情報や考え，気持ちなどを理由とともに話して（書いて）伝えているか」 ただ英語を話したり書いたりしても，相手に伝わらなければ意味がありません。授業で得たノウハウを用いて，相手の立場になって英語で意見を伝えましょう。 【評価の対象】 各種考查，単元テスト，パフォーマンステスト，エッセイ 等	「聞き手（読み手）が理解しやすいように，情報や考え，気持ちなどを理由とともに話して（書いて）伝えようとしているか」 ペア活動やグループ活動への取り組みの姿勢，課題提出状況も重要な評価の対象となります。 【評価の対象】 各種考查，単元テスト，小テスト，エッセイ，提出物，振り返りシート 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
【取り組み方について】 基本的な取り組み方は，「英語コミュニケーションⅡ」に書いているものと変わりません。「論理・表現Ⅱ」では，「やり取り」「発表」「書くこと」の3つの技能に焦点を当てて英語力を高めていきます。英語を使って論理的な展開で相手に自分の思いを伝えることや，状況や場面に応じて，正しく意見を伝えることが必要です。主な学習内容としては，文法事項をしっかりと習った後に，エッセイを書いたり，プレゼンテーションをしたり，友人とコミュニケーションをとったりします。どの活動にも，正しい文法を身につけることが必須です。英語で文を作るときには，①まずは自分で考え，②辞書や参考書を見て書き直し，③そして正しい解答を見て理解し，④その英語を使うことが大切です。たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに，英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。 【成績について】 1 学期ごとの成績は，定期考查の点数を観点別に計算，提出物や学習態度を加えます。

- 2 リテリングや音読，エッセイやプレゼンなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。
- 3 小テストや単元テストでの積み重ねも非常に大事です。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅡ	〔外国語〕

履修学科	普通科
履修学年	第2学年
履修単位	4単位
教科書	Power On English CommunicationⅡ（東京書籍）
副教材	英単語帳

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考 査	単元名（考査範囲）	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1学期	課題考査	春季休業中課題（OASIS）	1年生の復習として、春季休業中の課題で文法や長文読解に取り組む。単語帳を利用して語彙の定着にも努める。音読の提出を求める。	○	○		
	期末考査	Lesson 1 Play Me, I'm Yours	・ストリートピアノ設置の経緯の紹介 ・助動詞 / 受け身等				11
		Lesson 2 Ethical Fashion Lesson 3 One for All, All for One	・エシカルな活動についての発表 ・文型 ・有名人について調べ、発表 ・完了形	○	○	○	1, 2, 8 17
2学期	課題考査	夏季休業中の課題	文法や長文読解に取り組む。単語帳を利用して語彙の定着にも努める。音読の提出を求める。	○	○		
	中間考査	Lesson 4 Vending Machines	・自動販売機について発表 ・関係詞				9, 12
		Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue Lesson 6 New Banknotes	・ブレイルノイエについて発表 ・SVO(分詞 / if節) ・キャッシュレス社会についての意見交換 ・形式主語・目的語it	○	○	○	4 9

3 学期	期末 考查	Lesson 7 Some Secrets about Colors	・色の心理的効果についての意見交換 ・関係代名詞，接続詞	○	○	○	4
		Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Problem	・ユニークな製品の詳細を発表する ・強調構文，関係詞	○	○	○	1, 6
	課題 考查	冬季休業中の課題	文法や長文読解に取り組む。単語帳を利用して語彙の定着にも努める。音読の提出を求める。	○	○		
	学年 末 考查	Lesson 9 Flying after Her Dreams	・米国女性の就労問題について発表 ・譲歩，仮定法，分詞構文	○	○	○	5
		Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	・生活に役立つロボットについて発表 ・過去完了進行形，未来完了形	○	○	○	8, 9
	※	Going Home					

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 知識 「英語の特徴やきまりに関する事項（単語・文法・構文）を理解しているか」 - 技能 「コミュニケーションを行う目的や場面，状況に応じて，日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え，情報や考え，気持ちを伝える技能を身に付けているか」 失敗を恐れずに英語を使いましょう。 【評価の対象】 各種考查，単元テスト，小テスト，リテリング 等	「コミュニケーションを行う目的や場面，状況に応じて，日常的な話題について必要な情報を聞き（読み）取り，相手の意図などを捉え，情報や考え，気持ちを伝えているか」 丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること，即興でやりとりすることも大切です。 【評価の対象】 各種考查，単元テスト，リテリング，プレゼンテーション 等	「社会に目を向け，外国語の背景にある文化に対する理解を深め，相手に配慮しながら，主体的，自律的に英語を用いているか」 授業態度はもちろん，小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。 【評価の対象】 考查，単元テスト，小テスト，リテリング，提出物，振り返りシート等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
【取り組み方について】 毎日英語に触れることで英語力は向上します。日々の授業→復習で身につけた基礎があって初めて，身に付いていきます。また，英語の学習は「質より量」です。復習を欠かさないでください。必ず音読を取り入れてください。耳と口を使って英語に触れることが，文法構造を理解するだけでなく，スピーキングやリスニングなど，全ての技能に役に立ちます。 また，皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが，英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け，新聞にも目を通せるようになってください。 そして最後に，たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに，英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。

[成績について]

- 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算，提出物や学習態度を加えます。
- 2 リテリングや音読，エッセイやプレゼンなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。
- 3 小テストや単元テストでの積み重ねも非常に大事です。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語コミュニケーションⅡ	[外国語]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	2単位
教科書	Amity English CommunicationⅡ（開隆堂）
副教材	LEAP（英単語帳）

科目目標
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域（以下この節において「五つの領域」という。）別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	考 査	単元名（考査範囲）	学習活動	評価の観点			SDGs
				①	②	③	
1 学期	課題考査	春季休業中の課題	1年生で習った語彙や文法事項の確認をするための課題に取り組み、新教科書でのスタートの準備をする。	○	○		
	期末考査	Lesson 1 Okinawa	・沖縄の魅力 ・Iの復習				14
		Lesson 2 The History of Japanese Food	・日本食の歴史 ・Iの復習	○	○	○	2
		Lesson 3 Volunteer Work	・高校生のボランティア活動 ・Iの復習				10, 17
2 学期	課題考査	夏季休業中の課題	文法・語彙の定着を図る。読み物にも触れることで、英語長文を読むスタミナを身に付ける。音読を活用してリスニング、スピーキング力を養う。	○	○		
	中間考査	Lesson 4 Gacha-gacha	・ガチャガチャ ・SVOO / SVOC				9
		Lesson 5 Interesting Aquariums	・おもしろ水族館 ・形式主語・形式目的語	○	○	○	6, 14
		Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	・アハメドくんの命のリレー ・知覚動詞・使役動詞				3, 16

3 学期	期末 考查	Lesson 7 Artificial Intelligence	・ AIロボットの未来 ・ 接続詞・前置詞	○	○	○	9
		Lesson 8 The Mystery of Colors	・ 色の不思議 ・ 現在完了・現在完了進行形				11
	課題 考查	冬季休業中の課題	文法・語彙の定着を図る。読み物にも触れることで、英語長文を読むスタミナを身に付ける。音読を活用してリスニング、スピーキング力を養う。	○	○		
		Lesson 9 Street Performers	・ ストリートパフォーマー ・ 分詞の形容詞的用法、分詞構文	○	○	○	8
	学年 末 考 査	Lesson 10 The Culture of Selfies	・ 自撮り文化 ・ 関係代名詞				9, 11
※		Lesson 11 Finland	・ フィンランド ・ 関係副詞				
		Lesson 12 In Order to Live a Happy Life	・ 幸せな人生にするために ・ 仮定法				

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 知識 「単語・文法・構文を理解しているか」 そのためには、日々の復習が大切です。 ・ 技能 「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について書かれた（話された）英語を捉え、考えや気持ちを伝える技能を身に付けているか」 失敗を恐れずに英語を使いましょう。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト 等	「コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について必要な情報を聞き（読み）取り、相手の意図などを捉え、考えや気持ちを伝えているか」 丁寧に相手に自分の意見を丁寧に伝えること、即興でやりとりすることも大切です。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、パフォーマンステスト、プレゼンテーション 等	「社会に目を向け、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、英語を用いようとしているか」 授業態度はもちろん、小テストの点数や課題の提出状況といった学習に取り組む姿勢も評価されます。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト、学習態度、提出物、振り返りシート、ポートフォリオ 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけ方）
【取り組み方について】 毎日英語に触れることで英語力は向上します。日々の授業→復習で身につけた基礎があって初めて、身に付いていきます。また、英語の学習は「質より量」です。復習を欠かさないでください。必ず音読を取り入れてください。耳と口を使って英語に触れることが、文法構造を理解するだけでなく、スピーキングやリスニングなど、全ての技能に役に立ちます。 また、皆さんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。 そして最後に、たくさん英語を書いて話して失敗をしなければ英語は上達しません。間違いを恐れずに、英語を使ってたくさん発表・表現していきましょう。 【成績について】

- 1 学期ごとの成績は、定期考査の点数を観点別に計算、提出物や学習態度を加えます。
- 2 リテリングや音読、エッセイやプレゼンなどのパフォーマンスも重要な評価材料です。
- 3 小テストや単元テストでの積み重ねも非常に大事です。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
英語表現Ⅱ	[外国語]

履修学科	普通科
履修学年	第3学年
履修単位	2単位
教科書	BIG DIPPER English Expression II (数研出版)
副教材	英作基本文例 600・英単語 TARGET1400・ スタディサプリ・英作文問題集等

科目目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 (1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 (2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。

学期	考查	単元名（考查範囲）	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	課題 考查	Part 2 を扱います	2年次の学習内容を復習して、3学年レベルの学習内容に備える。	○	○	○	○
	期末 考查	Lesson 1 What's your favorite Dish? Lesson 2 A Guitar Concert Lesson 3 Uniforms or Casual Clothes? ※英作文問題集	好き嫌いを述べる 勧誘する・招待する、期待する 希望・欲求を述べる	○	○	○	○
		Lesson 4 Studying Abroad Lesson 5 After School Lesson 6 A Korean Drama ※英作文問題集	計画。意図を述べる 義務・必要を述べる 程度・譲歩を述べる	○	○	○	○
2学期	課題 考查		1学期の学習内容を復習して、2学期の学習内容に備える。	○	○	○	○
	中間 考查	Lesson 7 Going Bird Watching Lesson 8 Meeting the Deadline Lesson 9 Why Do We Study English? ※英作文問題集	依頼する・要請する 許可を求める 原因・理由を述べる、目的を述べる	○	○	○	○
	期末 考查	Lesson 10 Friendship Festival Lesson 11 Returning a Magazine Lesson 12 You Have My Sympathy ※英作文問題集	感謝する、喜ぶ 謝罪する、謝罪に応じる 同情する、励ます	○	○	○	○

3 学期	考 題	なし				
	卒業 考查	Lesson 13 What Should I Do? Lesson 14 Projects Studies Program Lesson 15 What Is Your Opinion?	提案する, 助言する 賛成する, 反対する 個人的な意見を述べる	○	○	○

評価の観点①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②英語表現の能力 ③英語理解の能力
④言語や文化についての知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
聞いたり読んだりして得た事実や意見を、積極的に英語で表現するためには、常に身近な問題や出来事に関心をもつことが大切です。自分自身が何を相手から聞き出し、何を伝えたいかを意識して日々を送ることを勧めます。授業での言語活動には、そのような姿勢で臨み、意欲的に英語でコミュニケーションを図りましょう。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト、提出物、学習態度 等	聞いたり読んだりして得た事実や意見を、英語で表現するためには、場面や状況に応じた文法や表現方法を使用する能力が求められます。相手が伝えたい内容を正確に理解し、それにより得た意見や知識をどのように発信するかを、論理的に考えて英語で表現できるように、文法事項や慣用表現などをしっかり学びましょう。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト 等	伝えたい内容を相手に理解しやすくするためには、情報を時系列にまとめたり、重要性の高い順に配したり、問題点提起や解決法、その具体例などを整理するなど、様々な技能が必要です。面倒なことのようには思いますが、このような作業を経ることで、論理的な英語表現をスムーズに行うことができますので、是非実践してみましょう。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト 等	聞いたり読んだりして得た事実や意見を英語で表現するためには、場面や状況に応じた文法や表現方法を覚え、理解する能力が求められます。相手が伝えたい内容を正確に理解し、それにより得た意見や知識をどのように発信するかを、論理的に考えて英語で表現できるように文法事項や慣用表現などを理解するよう努力しましょう。 【評価の対象】 考查、単元テスト、小テスト 等

担当者から（①授業を受けるときの約束事・勉強の仕方 ②成績のつけかた）

- ① どの教科・科目においても共通して言えることは、「普段を大切にしていけることがその教科・科目の力を向上させる」ということです。考查前の学習だけで詰め込んだことは、すぐに消えてしまいます。日々の予習→授業→復習で身に付けた基礎があって初めて、積み上げが可能になります。高校3年時で身に付けなければならないレベルが3段階だとすれば、各学期での1+1+1の積み重ねで3になるのであって、3学期になってから3倍頑張っても“too late”です。では、具体的に何をすればいいのでしょうか。

まず、英語の学習は「毎日コツコツ」です。要領よく学習しようと考えずに、予習を欠かさないでください。自分ではわからないことや疑問に思うことを確認した上で授業に臨めば、授業への集中力が増し、理解も深まっていきます。また、理解したことを定着させるための復習では、必ず音読を取り入れてください。このことが、英文を理解するだけでなく、英語が自然に口から出てくる第一歩にもなります。

また、みなさんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。繰り返しますが、普段の積み重ね以外に学力向上への道はありません。「普段」の「不断」の努力を惜しまないでください。

- ② 成績は、**各学期の定期考查**の他に、以下のように、課題の提出（含スタディサブリ）や小テストなども**平常点**として加味されます。下記Ⅰ～Ⅲをよく読んで、意欲的に勉強しましょう。

Ⅰ 課題の提出

- ① 教科書の予習 ②週末課題・日々題 ③テスト訂正

Ⅱ 平常テスト・言語活動への取り組み

- ① 提出物 ②「日々テスト」
③授業内での様々な言語活動に、意欲的に取り組んでいるかどうか

Ⅲ 平常点

- ① 平常点は30点です。内訳は以下の通りです。
「提出点」「平常テスト・言語活動への取り組み」「課題考查」「授業態度」等

②その他

- ☆ 忘れ物をした場合は必ず授業開始までに教科担任に報告してください。
- ☆ 担任への届なしの遅刻、欠席はしないこと。
- ☆ 定期考查で欠点を取ると、進級だけでなく、学校の規定により次の大会出場が難しくなります。
- ☆ 教科担の指導に従うこと。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
コミュニケーション英語Ⅲ	【外国語】

履修学科	普通科
履修学年	第3学年
履修単位	文系5単位、理系4単位
教科書	NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ (増進堂)
副教材	英作基本文例 600・英単語 TARGET1400・ 共通テスト・2次試験対策問題集を購入予定(3-1)

科目目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
(1) 1の目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動を更に発展させて行う。
(2) (1)に示す言語活動を行うに当たっては、「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(2)と同様に配慮をするものとする。

学期	考査	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	課題考査		2年次の学習内容を復習して、3学年レベルの学習内容に備える。	○	○	○	○
	期末考査	Section 1 Skill 1 ~ Skill 10 ※長文読解・リスニング演習	英文確実に読み解くために必要なスキルを学ぶ。 意味のまとまりで読む、代名詞や言い換えに注意する、推測して読む、段落構成を意識して読む、時間・順序を表す言葉に注意する、例示・列挙・新情報の追加、逆接・対比、原因・理由・結果、等	○	○	○	○
		Section 2 Chapter 1 Steve and Ryoma Chapter 2 Uluru, Not Ayers Rock ※長文読解・リスニング演習	二人の著名人の生き方や考え方から物事を達成する際の「信念」の重要性を理解する。 世界的に有名なウルルの実情を知り、世界遺産などの重要な土地をどう利用すべきか考える。	○	○	○	○
2学期	課題考査		1学期に学んだ内容を復習する。 夏休みの課題に取り組む。	○	○	○	○
	中間考査	Chapter 3 Community Design Chapter 4 The Life of Murasaki Shikibu ※長文読解・リスニング演習 ※共通テスト対策	コミュニティデザインという言葉の意味を理解し、その実践例を学ぶ。地域の活性化には地域の人々の自覚と連携が必要であるということを理解する。 紫式部の生涯を平易な英文で読み、その生き方について知る。	○	○	○	○
	期末考査	Chapter 5 Microfinance Chapter 6 The Plain People ※共通テスト対策	マイクロファイナンスの概要と歴史、今後の展望について学ぶ。 アーミッシュの人々の飾り気のない生活、現代文明を使用しないという異文化を知り、彼らが実践する生活様式の長所と短所を考える。	○	○	○	○
	課題考査	なし					
3学期	卒業考査	Chapter 7 The Air Powered Car Chapter 8 Are Children the Best Learners? ※共通テスト・国公立大学対策	近未来の自動車として注目を集めている「空気自動車」について、その開発から実現化までの概要を知る。 既成概念に囚われない発想とそれを裏付ける科学的根拠を示す文章の読解から、説明的文章の論述手法を学ぶ。	○	○	○	○

評価の観点 ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②英語表現の能力 ③英語理解の能力
④言語や文化についての知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
聞いたり読んだりして得た事実や意見を、積極的に英語で表現するためには、常に身近な問題や出来事に関心をもつことが大切です。自分自身が何を相手から聞き出し、何を伝えたいかを意識して日々を送ることを勧めます。授業での言語活動には、そのような姿勢で臨み、意欲的に英語でコミュニケーションを図りましょう。	聞いたり読んだりして得た事実や意見を、英語で表現するためには、場面や状況に応じた文法や表現方法を使用する能力が求められます。相手が伝えたい内容を正確に理解し、それにより得た意見や知識をどのように発信するかを、論理的に考えて英語で表現できるように、文法事項や慣用表現などをしっかり学びましょう。	伝えたい内容を相手に理解しやすくするためには、情報を時系列にまとめたり、重要性の高い順に配したり、問題点提起や解決法、その具体例などを整理するなど、様々な技能が必要です。面倒なことのように思えますが、このような作業を経ることで、論理的な英語表現をスムーズに行うことができますので、是非実践してみましょう。	聞いたり読んだりして得た事実や意見を、英語で表現するためには、場面や状況に応じた文法や表現方法を覚え、理解する能力が求められます。相手が伝えたい内容を正確に理解し、それにより得た意見や知識をどのように発信するかを、論理的に考えて英語で表現できるように、文法事項や慣用表現などを理解するよう努力しましょう。
【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト、提出物、学習態度 等	【評価の対象】 各種考查、単元テスト 等	【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト 等	【評価の対象】 考查、単元テスト、小テスト 等

担当者から（①授業を受けるときの約束事・勉強の仕方 ②成績のつけかた）
① どの教科・科目においても共通して言えることは、「普段を大切にしていけることがその教科・科目の力を向上させる」ということです。考查前の学習だけで詰め込んだことは、すぐに消えてしまいます。日々の予習→授業→復習で身に付けた基礎があって初めて、積み上げが可能になります。高校3年時で身に付けなければならないレベルが3段階だとすれば、各学期での1+1+1の積み重ねで3になるのであって、3学期になってから3倍頑張っても“too late”です。では、具体的に何をすればいいのでしょうか。 まず、英語の学習は「質より量」です。要領よく学習しようと考えずに、予習を欠かさないでください。自分ではわからないことや疑問に思うことを確認した上で授業に臨めば、授業への集中力が増し、理解も深まっていきます。また、理解したことを定着させるための復習では、必ず音読を取り入れてください。このことが、英文を理解するだけでなく、英語が自然に口から出てくる第一歩にもなります。 また、みなさんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。 繰り返しますが、普段の積み重ね以外に学力向上への道はありません。「普段」の「不断」の努力を惜しまないでください。 ② 成績は、各学期の定期考查の他に、以下のように、課題の提出や小テストなども平常点として加味されます。下記Ⅰ～Ⅲをよく読んで、意欲的に勉強しましょう。 Ⅰ 課題の提出 ①教科書の予習 ②週末課題・日々題 ③テスト訂正 Ⅱ 平常テスト・言語活動への取り組み ① 「日々題テスト」②「単元テスト」 ③授業内での様々な言語活動に、意欲的に取り組んでいるかどうか Ⅲ 平常点 ① 平常点は30点です。内訳は以下の通りです。 「提出点」「平常テスト・言語活動への取り組み」「課題考查」「授業態度」等 ③その他 ☆ 忘れ物をした場合は必ず授業開始までに教科担任に報告してください。 ☆ 担任への届なしの遅刻、欠席はしないこと。 ☆ 定期考查で欠点を取ると、進級だけでなく、学校の規定により次の大会出場が難しくなります。 ☆ 教科担の指導に従うこと。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
コミュニケーション英語Ⅱ	[外国語]

履修学科	総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	2単位
教科書	Viva! English Communication Ⅱ (第一学習社)
副教材	スタディサプリ 長文・文法問題集

科目目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 (1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 (2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

学期	考 査	単元名	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1 学期	課題 考査		2年次の学習内容を復習して、3学年レベルの学習内容に備える。	○	○	○	○
	期 末 考 査	Lesson 6 Looking for New Energy	今まで捨てられていたものや、身の回りにあるものから生み出されるエネルギーについて (関係代名詞)	○	○	○	○
		Lesson 7 Taylor's Reading Corners	東日本大震災の犠牲となった ALT の遺志を受け継いだ活動について (関係副詞)	○	○	○	○
2 学期	課題 考査		1学期に学んだ内容を復習する 夏休みの課題に取り組む	○	○	○	○
	中 間 考 査	Lesson 8 The World's Poorest President	「世界一貧しい大統領」と言われたウルグアイのムヒカ大統領のスピーチについて (分詞)	○	○	○	○
	期 末 考 査	Lesson 9 <i>Shitamachi</i> Bobsleigh Project	冬季オリンピックを目指している東京都大田区の町工場の挑戦について (知覚動詞・使役動詞)	○	○	○	○

3 学期	卒業 考查	Lesson10 Lion in the Wind	ケニアで医療活動に従事した柴田紘一郎 さんをモデルにした『風に立つライオン』 という曲について（仮定法）	○	○	○	○
---------	----------	---------------------------	--	---	---	---	---

評価の観点 ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②英語表現の能力 ③英語理解の能力
④言語や文化についての知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「苦手だから学習しない」のではなく、「<u>苦手だからこそ理解しようと努力する</u>」姿勢が大切です。積極的に発表やグループ活動に参加してください。授業態度はもちろん、小テストや課題への取り組み状況といった普段の学習姿勢を重視します。なお、英和辞典は英語学習に欠かせませんので、毎時間持ってきてください。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト、提出物、学習態度 等	英語を学習するにあたって、何をどうすればいいのかを理解することが先決です。「わからない」からわかるようとして学習するのです。授業では答えを与える前に様々なヒントを与えます。それをよく聞き考える癖がついてくると、学習のポイントがつかめてきます。<u>たとえ誤答であって、自分で考えて答えを導き出すことを評価します。</u> 【評価の対象】 各種考查、単元テスト 等	Don't be afraid of making mistakes.「失敗を恐れるな」です。完全な答えでないと恥ずかしいと考えてはいけません。繰り返し学習することによって必ず身についてきます。また、<u>英語を口にし、音として学ぶことも大切にしてください。</u>正答・誤答にかかわらず、授業への積極的な参加が英語上達への道に繋がります。 【評価の対象】 各種考查、単元テスト、小テスト 等	英語を聞いたり読んだりして理解し、そのことについて英語で表現するためには、単語力・文法力・構文力が必要になります。言葉は生き物ですので一語に一訳では対応できません。英訳・和訳ともに答えは一つではありません。「覚えたこと」を小テストを通じて「理解」に繋げていきます。 【評価の対象】 考查、単元テスト、小テスト 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
〔取り組み方について〕 どの教科・科目においても共通して言えることは、「普段を大切にしていけることがその教科・科目の力を向上させる」ということです。考查前の学習だけで詰め込んだことは、すぐに消えてしまいます。日々の予習→授業→復習で身に付けた基礎があつて初めて、積み上げが可能になります。高校3年時で身に付けなければならないレベルが3段階だとすれば、各学期での1+1+1の積み重ねで3になるのです。 具体的な英語の学習法についてです。<u>「語彙力は英語力」と言われるほど、多くの単語を知ることが大切です。</u>英語の長文を読むときにも、単語を知らなければ理解できません。英語の単語を知らなければ、いくら英語を聞いてもリスニング力はつきませんし、話すこともできません。単語を覚えることを意識して日々の学習や考查に臨みましょう。また、<u>英語検定にも挑戦するなど、日々自ら努力をすることで英語力はついていくものです。</u> また、みなさんを取り巻く社会情勢にもアンテナを高くし問題意識をもつことが、英文を読む上で大きな助けになります。<u>ニュースに耳を傾け、新聞にも目を通せるようになってください。</u> 繰り返しますが、普段の積み重ね以外に学力向上への道はありません。<u>「普段」の「不断」の努力を惜しまないでください。</u> 〔成績について〕 ①中間考查は得点そのまま成績となります。 ②学期成績は、定期考查の点数（中間考查点+期末考查点）を7割に換算し、それに平常点3割を加えたものとします。 ③平常点は「授業プリント」「課題の提出（含スタディサプリ）」「小テスト」「各種テストの訂正」「授業への取り組み」等を勘案し、学期ごとに換算されます。 ④基準点未満の場合、卒業が難しくなります。 〔その他〕 ①忘れ物をした場合は、必ず授業開始までに教科担任に届け出ること。 ②保健室利用等でやむを得ず授業に参加できない場合には、必ず事前（あるいは事後）に教科担任に届け出ること。 ③提出物については絶対に期限を守ること。大会出場等で提出期限に間に合わないと事前にわかっている場合には、必ず事前に教科担任に届け出ること。